

令和七年十月吉日初版作成

天と地をつなぐ
神聖なる型

高嶋善三郎

目次

- 真理の原点、神聖なる型を身に付ける・・・・・・・・・・3
- 私たちが宇宙神の無限なる愛等と合体した瞬間・・・・4
- 五井先生が天の本体と合体された様子・・・・・・・・・・5

お願い

既に作成した資料（バックナンバー）は、ウェブサイト『白光北陸』のブログ欄に掲載しています。

より分かりやすくするため、ご感想があれば、お聞かせください。

次の連絡先にお問い合わせ致します。

（スマホ）090-3346-6619

（メールアドレス）zensan@peach.ocn.ne.jp

真理の原点、神聖なる型を身に付ける

私たちは、世界平和を先導する者としてどのような点に留意していたら、よいのでしょうか。

この質問に対する回答を考える上で、ヒントになるものとして、平成二十八（2016）年十月二日、宇宙究極の光を降ろす行事において、昌美先生のお話があります。それをもとに整理したいと思います。

そこで、昌美先生が五井先生からのメッセージを、披露されています。

「今日、久しぶりに皆様とともに世界人類が平和でありますように各国の平和を祈ろうと思っておりますら、急に五井先生からメッセージが入りました。

『目をつぶれ。そして周りを見る。この物質の眼ではなく、心眼を開いてここへ集まっている一人一人をみてごらん。』

彼らはもう五井先生のみ教えの神髄である祈り型、善の型、愛の型・・・すべての型を身に付けた、自信あふれる人類のリーダーのリーダーのリーダーである。

昌美の心眼を開いて、一人一人をよくみてごらん。

確かに涙が出るような光景です。世界各国の祈りの間、HSK卒業生と研究員の旗手は中国旗を、講師の方々は小国旗を掲げ、会場を取り囲む大国旗のもとでは講師が印を組み、会場の皆様一人一人は大地に座り、言霊を発して祈りつづけ、国旗カードを掲げる。これはもう十分に育ったということなのだ。

五井先生はじめ昌美や大勢の人たちが、自分が育つと同時に他をも育てたのだ。リーダーのリーダーのリーダーにふさわしき人々をこの富士聖地で、白光でつくりあげたのだ。

昌美よ、もう安心するがいい。彼らは世界中のリーダーとして、一人が一万人を救うほどの素晴らしい真理の原点、神聖なる型を発揮できるほどに育っている。』

私は、時々薄目を開けて皆様方の様子を眺めました。そして、真剣に祈っておられる一人一人のお姿に感動し、感無量になりました。

（略）

偉大な画家であれ、新しい感覚の芸術家であれ、まず型を身に付け、それから独自の世界を創造します。

同じように、五井先生のみ教えの「消えてゆく姿で世界平和の祈り」をそれぞれが祈りながら、皆様一人一人の生い立ち、国、宗教、過去の体験を通して自分なりの素晴らしい人類の指導者が出来上がるのです。過去のものをそのまま真似した指導者ではなく、自分本来の生き方、多様性を表現するのです。」

そして別の個所で、「型を身に付けた皆様は、もう同じでなくてもよいのです。これからは国境、宗教、人種・民族、言語、肌の色、貧困、飢餓、男性・女性、すべてを超えてワンネス、一つなのです。一人一人が多様な神聖を発揮して、平和を創り上げる時代がやってまいりました。それは皆様お一人お一人が築きあげてきた結果です。これから皆様はその結果を受けつつゆくののです。人類の苦しみや悲しみを喜びに、歓喜に、平和に。皆様はその素晴らしいポジティブな結果を受け取るために今生に生まれてきたのです。とうとう完成したのです。」と言われています。

ここで世界平和を先導するものとして留意すべき点について、整理してみましよう。

●世界平和を先導するリーダーとして、一人が一万人を救うほどの素

晴らしい真理の原点、神聖なる型、即ち五井先生のみ教えの神髄である祈り型、善の型、愛の型・・・すべての型を身に付け、それを発揮できる存在になったことを常に自覚する。

●神聖なる型を身に付けたとは、宇宙神の光を降ろす、決め手になる神聖（本心）を活性化させるために、いかに意識を働かせ、行動に移していくかを認識し、それらを実際に行動に移して、成果を上げていることを言われている。具体的には、「消えてゆく姿で世界平和の祈り」による成果である。そこには、報いを求めない、無為から生じた愛の行為、またそのような境地になれない場合は、させて頂く、やらせて頂く、という謙虚な布施行為があるのみ。この神聖なる型を、今後の様々な体験を通じて、さらに磨きをかけ、進化させていく。

●過去のをそのまま真似した指導者ではなく、自分本来の生き方、多様性を通じて、人類の苦しみや悲しみを喜びに、歓喜に、平和にしていく役割を果たし、表現するということでしょう。

私たちが宇宙神の無限なる愛等と合体した瞬間

私たちが人類のために祈りをささげてきた、最終的な結果として昌美先生は、心眼を開いてみた光景を次のように言及されています。

「全エネルギーを発揮した皆様方一人一人の脳の天辺から、どんな光がでている光景でした。ああこれが神聖なのだ、と思いました。誰もがみな持っている目に見えない神聖が、天へとずんずん伸びてゆくのです。その神聖の光は細い人もいれば太い人もいました。途中で止まっている人もいました。ですが、止まっている人も、多くの人たちの光を受けて再び伸びてゆくのです。みな伸びていって、ついに自分の意識、神聖なる意識が宇宙神の無限なる愛、無限なる光、無限なる可能性、無限なる能力、無限なる成功、無限なる健康、無限なる生命、無限なる大成就と合体し、その光がバーンと皆様の中に降りて来たのです。その何万ボルトものエネルギーは、皆様の方の脳、血液、細胞、遺伝子の一つ一つにまで入り、体中を駆け巡ってゆきました。そのようにして、それぞれが抱え持つ肉体的な苦しみなどを自分の力で、自分の愛念で、自分の神聖で浄めている姿を五井先生より見せていただきました。」

五井先生が天の本体と合体された様子

私たちが宇宙神の無限なる愛等と合体したこと、の自覚を高めるため、五井先生が天の本体と合体された様子を『天と地をつなぐ者』からみましよう。

五井先生が、霊側と様々な問答をされ、それをクリアされ、想念停止（空観）を成功され、

「私はものを想わなくなった。しかし必要があれば語り、用に応じて手足を動かし体を働かせることもできた。私という肉体的個人はもはやこの世には存在しなくなっていた。私の過去世からの想念のすべてを天に還してしまったのである。天と地の間にすっかり澄み徹った私がいた。久しく停止していた私の個我がすでに天の本体と合体していることを直感した。その直感はその翌晩はっきりと私に示されたのである。」

そして五井先生は、写実的体験として天の本体と合体されたのです。

「私は例のごとく就寝前の冥想に入った。想念停止の練習により私は直ちに統一することができる。その夜統一したと思うと、吸う息がなくなり、吐く息のみがつづいた。すると眼の前に天までもつづいているかと思える水晶のように澄み切った太く円い柱が現われ、私は吐く息にのり、その太柱を伝わって上昇し始めた。上昇してゆくと上に少し黄ばんだ灰色の雲の層がちょうとある霊界の境界線のように下の界と一線を描いている。私はなんの障りもなくその境界線をとおりぬけると、今度は真白な雲の層に出た。これもなんでもなくすぎ、青雲、緑、青緑、赤緑、

と各光雲の層をとおりすぎて、七つ目の金色に輝く雲界をぬけ出た時、全くの光明燦然、あらゆる色を総合して純化した光明とでもいうような光の中に、金色に輝く椅子に腰かけ、昔の公卿（くげ）のかぶっていたと思われる紫色の冠をかぶった私がいる。“あつ”と思う間もなく私の意識はそこに合体してしまった。

合体した私は静かにたち上がる。確かにそこは神界である。さまざまな神が去来するのがみえる。富士山のような山もあり、満々と水をたたえている河もある。それこそ竜宮城のような建物もある。上から下へ、右から左へ、としきりにあらゆる光の波が流れている。不思議なことに一個所にとどまっていながら、そうした情景が次から次にみえてくるのである。天の私（真我）に地の私がとどまっているこの現実、霊的神我一体観がついに写実的神我一体として私の自意識が今確認しているのである。

想念停止の練習時にはもう少し上に、もう一段上に自己の本体がある、直感しながら今まで合体できなかったその本体に、その時正しく合体したのである。わがうちなる光が、すべての障害を消滅せしめて大なる発光したのである。その時以来、私は光そのものとして自己を観じ、私の内部の光を放射することによって、悩める者、悲しむ者を救い、病める

者を治しているのである。

天とは人間の奥深い内部であり、神我とは内奥の無我の光そのものであることも、その時はっきり認識した。一真実行がついに百知を超えて、自己の本体を直接把握し得たのである。天に昇ったということは自己の内奥深く入っていった、ということと同一なのである。空間的にみれば天の本体に合体したのであり、直覚的にはうちなる神と合一したのである。その間現象的時間にして約三十分であった。

想念停止（空観）とは、空そのものが終局ではなかったのである。空になるとは、現象的、この世的全ての想念をいったん消滅し去って、その「空」となった瞬間、真実の世界、真実の我がこの現象面の世界、現象面の我と合体して、天地一体、神我一体の我が出現してくるのである。真我の我とは、一体何か。神我であり、慈愛であり、調和であり、自由自在な心である。」

五井先生が天の本体と合体された様子を、何度も何度も読み返すことは、私たちが宇宙神の無限なる愛等と合体したこと自覚を高め、神聖復活の印を組むための心構えを深めるだけでなく、大きな勇氣と励みを与えてくれます。